



9月は、世界

アルツハイマー月間

国際アルツハイマー病協会は、1994年、認知症への理解を進め、本人や家族への施策の充実を目的に、世界アルツハイマーデーを制定しました。また、9月を世界アルツハイマー月間として、啓発活動を行っています。9月は市役所のハミング階段が、イメージカラーのオレンジに染まりました。



さて、習志野市議会は、9月1日に2020年市議会第3回定例会が招集され、9月30日まで議案を審議。今市議会も6月市議会

に続いて、コロナ感染症対策を十分にとった中で、審議されました。

藤崎ちさこの一般質問

新型コロナウイルス感染症対応のため、一般質問の時間は1人60分までと、短縮となりました。私の一般質問は9月24日(木)でした。内容をご報告します。

【質問内容】新型コロナウイルス感染症禍の下での、(1)放課後児童会 (2)高齢者のくらし (3)防災・減災
それぞれの問題について。

(1)放課後児童会について

【質問1：藤崎】

放課後児童会の運営は、6月以降どのように行ってきたのか、また、自肅の協力に対する、児童育成料の減免はどのようなものだったのか、伺う。

【答弁：こども部長】

入室時の検温、おやつを食べる席が対面とならない配置、食べる時は会話を控

9月議会日程	
18日(金)	本会議。議案、請願などについて、質疑、討論、採決。
23日(水) ~29日(火)	一般質問
30日(水)	一般質問、 発議案の提案採決、閉会。

えるなどの新たなルール。イベントは対策を考えて実施。6月の児童育成料は、全額減免や半額減免を行った。

【質問2：藤崎】

コロナ禍で自粛協力をして、自宅で過ごす児童の状況把握・相談・フォローなどを行っているのか、伺う。

【答弁：こども部長】

児童の状況把握は実施していないが、相談に柔軟に応じている。自粛に協力する児童が、再登録を希望する場合は、月の途中でも受け入れている。

【質問3：藤崎】

コロナ禍で通常の支援員研修が実施できない中、しっかりした研修の必要性が増しているが、どのように考えるか、伺う。

【答弁：こども部長】

コロナ感染症予防の観点から、職員を一同に集める研修の実施は見合わせ。10月からは職員を少人数ずつに分散し、3密とならない中で研修会を予定している。

(2)高齢者のくらしの取組について

【質問1：藤崎】

コロナウイルス感染症禍で「高齢者ふれあい元気事業」が中止となった。その影響はどのようなものか、伺う。

【答弁：健康福祉部長】

多くの町会・自治会が地域まつりや文化祭などを中止する中、高齢者の外出の機会が減る、運動や地域の交流の減少、体力の低下、気持ちの落ち込みなど、心身機能の低下が心配される。

【質問2：藤崎】

「高齢者ふれあい元気事業」がない中で、有効な取組みは何か、伺う。

【答弁：健康福祉部長】

自宅のできるフレイル（加齢によって

心身が弱っている状態）予防体操「おうちのできる簡単体操」をユーチューブで配信。広報習志野、高齢者相談センターだより、体操のDVDなどを配布し、周知・啓発する。

【質問3：藤崎】

来年度の高齢者ふれあい元気事業補助金交付の見通しについて、伺う。

【答弁：健康福祉部長】

コロナウイルス感染症の終息が見通せない状況であるので、今後、適切な時期に判断していく。

【要望：藤崎】 来年度の高齢者ふれあい元気事業補助金は、初めから中止と決めてしまわず、十分な対策の下、可能な範囲で利用できるような形にして頂きたいと要望する。

(3)防災・減災の取組について



【質問1：藤崎】

コロナウイルス感染症禍で総合防災訓練が中止となった。今できる防災・減災の取組はどのようなものか、伺う。

【答弁：危機管理監】

感染症に留意下避難所開設、避難者の健康管理、スペースの確保。市指定の避難所以外に在宅避難、その他の避難のあり方について市民に周知している。ハザードマップ・防災カルテの活用。